

実施記録



- 1 日時 令和7年6月6日(金) 13:45~14:35
- 2 対象 広島大学附属東雲中学校2年2組 38名
- 3 授業者 山田 大希 先生(広島市立五日市中学校)
- 4 教材 箱根駅伝を予想する~箱ひげ図を利用して
- 5 本時の目標 PPDACを2周させて箱根駅伝2026の順位を予想することができる。

学 習 活 動	指導上の留意点
箱根駅伝のことを知る。 1月2・3日に分けて10名が約20kmずつ棒をリレーする関東の学生による駅伝大会 1. 「(2025年登録選手の5000m, 10000m, ハーフマラソンの結果を見せて)上位チームを当てるためにどの記録が参考になりますか?」 2. 「12チームを比較するにはどう分析しますか?」 ・平均値や中央値等の代表値 ・ヒストグラム ・箱ひげ図 箱ひげ図を用いて箱根駅伝2025の上位を当てよう! ・箱の位置, 上位50%, 中央値, 第一四分位数等で判断 ・10000は青学, 国学院, 駒澤, 創価, 中央 ・ハーフは駒澤, 国学院, 青学, 東洋, 城西, 創価, 大東文化の順	Problem Plan Data ・図の有用性に着目させる。 ・必要に応じて3位 or 5位まで予想させるか, 判断する。 Analysis ・少しずつ区切り, より細かく箱ひげ図を検討させる。 Conclusion ・結果ダイジェスト版を見せる。 青学, 駒澤, 国学院, 早稲田, 中央の順
3. 箱ひげ図を用いて箱根駅伝2026の上位を予想しよう! ・5000mと10000mを用いる ・5000mとハーフを用いる ・青学, 駒澤, 国学院, 中央, 創価等に注目する	Problem Plan Data Analysis ・クラス全体で選ばせる。 ・各班で新聞の題を提案させる。 Conclusion

- 〔協議会〕(14:50~16:45) 司会: 重川千秋(広島大学附属東雲中学校)
1. はじめに(広島県数学会会長 岡寺裕史先生)
 2. 授業について
 3. 授業づくり研修~PPDACを50分で2周する教材~ 進行(東雲中:天野秀樹)
 4. 講話「データの活用領域の授業づくり」(広島大学大学院 松浦武人先生)
 5. おわりに(広島市数学会会長 広中康雄先生)



〔参加者(敬称略)全45名(教育関係者・本校教員を含む)〕

松浦武人(広島大学大学院)岡寺裕史(広島県数学会会長)広中康雄(広島市数学会会長)

宮岡英明(広島県教育委員会)安部二三衣(広島県教育委員会)田頭かおり(広島市立中広中学校)

生田直子(廿日市市立大野中学校)青谷章弘(広島経済大学)北村浩之(尾道市立みなと中学校)矢野(広島大学附属中高)

玉置(庄原市立庄原中)中田(北広島町立芸北中)橋本(福山市立城東中)池田(福山市立城東中)川地(呉市立昭和中)

笠間(広島市立仁保中)舩迫(大竹市立小方中)濱田(福山市立城北中)稲葉(府中市立上下中)吉中(福山市立培遠中)

田岡(北広島町立豊平学園)奥田(熊野町立熊野東中)住岡(安芸太田町立加計中)吉田(山口・平生町立平生中)

御影(庄原市立庄原中)石橋(広島市立高取北中)川島(福山市立培遠中)三好(三次市立布野中)本間(呉市立蒲刈中)

山田(広島市立五日市中)今川(福山市立加茂中)豊内(広島市立二葉中)山本(呉市立安浦中)深野(福山市立城東中)